

前を見て進む 海老名 健全財政の維持

企画財政課 235(8453)

市ではこれまで、市の特性や立地条件を十分に生かしながら、各種施策と連携し、「攻めの人口ビジョン・総合戦略」の策定に取り組んできました。

昨年10月には海老名駅西口地区に新たなまち「扇町」が生まれ、多くの人が集い、雇用も生じたことから、「まち・ひと・しごと」の好循環が具現化してきました。優れた立地条件を生かした土地区画整理事業は、にぎわいや雇用を創出すること

もに、税収の増加をもたらします。これは、市が取り組んできた「自立に向けた好循環のサイクル」であり、あらためて持続可能な都市経営の重要性を再認識したところです。

3月には長年の悲願であった、小田急ロマンスカーの海老名駅停車が実現しました。上下線合わせて平日22本、土曜日・休日は25本が停車し、市民の利便性向上だけでなく、来街者の増加、にぎわいの創出、地域経

済活性化などの相乗効果が期待されています。

現在の海老名市は元気にあふれ、成長を続けています。しかし、少子高齢社会の進行や多様化する市民ニーズへの対応など、極めて困難な社会構造の中、現状に甘んじているままでは現状維持すら危うくなる恐れがあります。「皆さんに愛され続けながら、将来の市民にも愛される海老名市」を実現するためには、10年先を見据えながらも着実に一歩一歩を刻む必要があります。ここ数年の取り組みが将来を左右するものと考えています。

このような考えのもと、平成28年度予算を「前を見て進む海老名 健全財政の維持」として編成しました。市が将来にわたって輝き続けるために、人口減少・超高齢社会という構造的課題に正面から取り組み、活力ある元気な海老名市の継続に向けた道筋を明らかにし、積極果敢な都市経営に努めていきます。

(平成28年度 施政方針・抜粋)

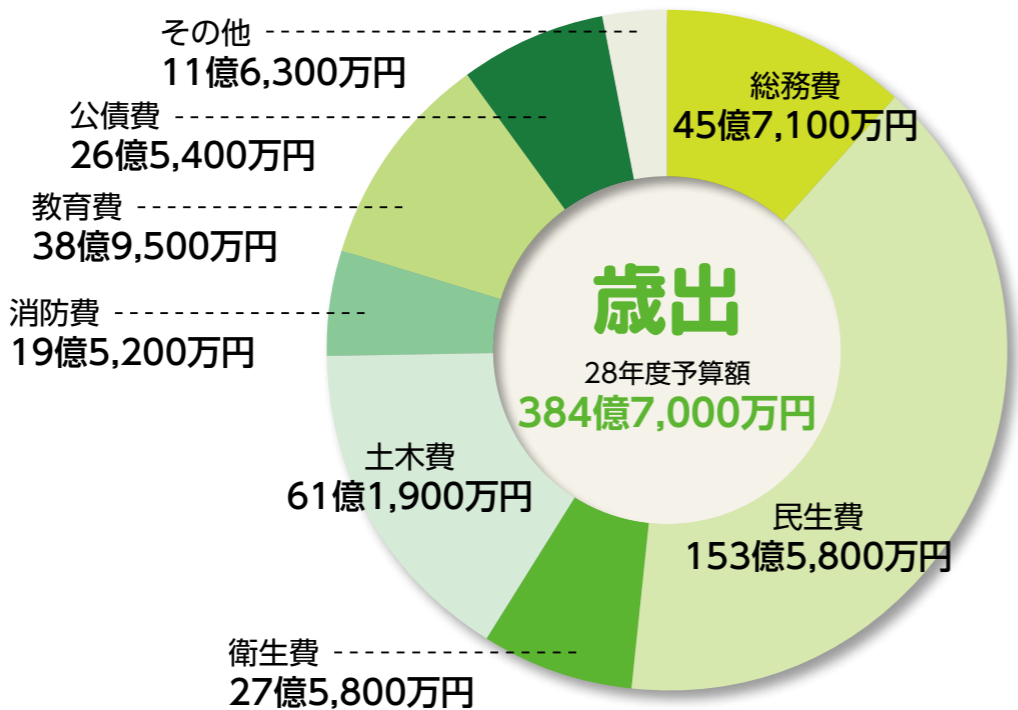
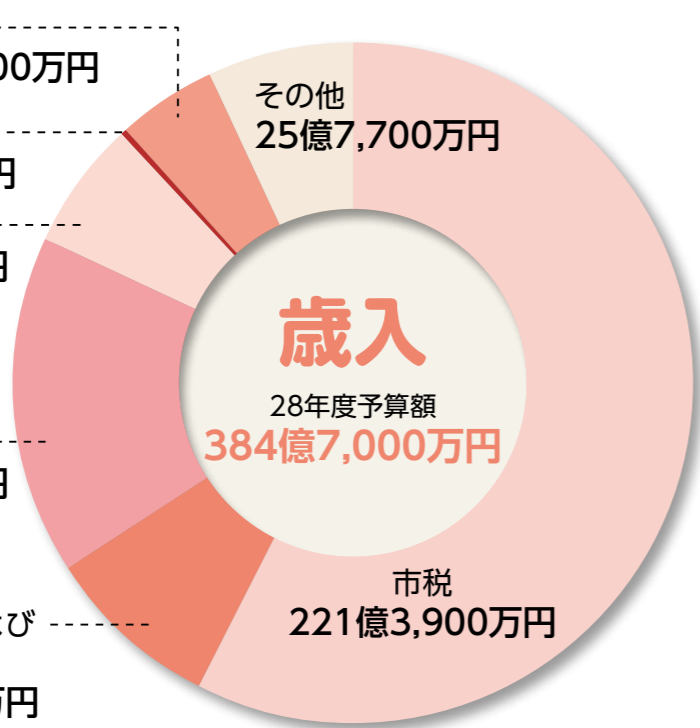
平成28年度予算額

特別会計を加えた総予算額は642億6097万円となり、過去3番目に大きい予算額となりました。

会計名	28年度当初予算額	対前年度伸率	
一般会計	384億7,000万円	-3.6%	
特別会計	国民健康保険事業	146億4,242万7,000円	-0.8%
	下水道事業	31億358万7,000円	-7.8%
	介護保険事業	65億5,253万1,000円	2.6%
	後期高齢者医療事業	14億9,242万7,000円	14.2%
	小計	257億9,097万2,000円	-0.1%
合計	642億6,097万2,000円	-2.2%	

一般会計予算の内訳

一般会計予算額は前年度と比較し、14億3200万円、3.6%減額の384億7000万円となりました。歳入では市税や消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金の増、歳出では中央図書館大規模改修事業が完了したことによる教育費の大幅な減少が特徴です。



市債および基金残高の推計

市債(借金)残高は減少する見込みとなる一方、基金(貯金)残高はほぼ横ばいとなる見込みで、健全財政を維持しています。

	28年度末	27年度末	増減額
市債残高	417億1,728万8,000円	426億111万5,000円	-8億8,382万7,000円
一般会計	279億7,245万3,000円	285億3,116万4,000円	-5億5,871万1,000円
下水道事業	137億4,483万5,000円	140億6,995万1,000円	-3億2,511万6,000円
基金残高	60億2,998万6,000円	60億9,309万9,000円	-6,311万3,000円
財政調整基金	26億4,997万2,000円	26億4,492万円	505万2,000円
新まちづくり基金	14億4,042万7,000円	14億6,785万5,000円	-2,742万8,000円
公共施設等あんしん基金	15億6,773万9,000円	15億6,516万4,000円	257万5,000円
その他基金	3億7,184万8,000円	4億1,516万円	-4,331万2,000円